

## 書籍のご紹介

以前 WAVE に審議役として在籍されておりました、小野寺浩様が『屋久島の作法』という本を出版されました。

この本は、雑誌「論座」（朝日新聞社）の連載記事を取りまとめたもので、著者ご自身が世界遺産登録に関与された「屋久島」を始め、知床から西表までの全国の自然を取り上げて、日本の多様な自然と人間との共生の「作法」について記されています。また、神戸港の役割や小樽運河の素晴らしさもあわせて紹介されています。私たちの取り組んでいる海の再生の取組を考えていく上で参考になると思いますので、ここにご紹介致します。

なお、本書籍は一般書店等にて購入可能です。



### 屋久島の作法

日本の環境遺産を旅する

小野寺浩 朝日新聞出版 1,700+税

#### 【著者略歴】

1946年 北海道札幌市生まれ。京都大学大学院農学研究科修了（造園学研究室）。

1973年 環境庁入庁。

1984年～87年 国土庁計画調整局計画課に出向、  
第四次全国総合開発計画（四全総）の策定に関与。

1990年～1993年 鹿児島県出向。屋久島の世界遺産登録等を推進。

1993年 環境庁水質保全局瀬戸内海環境保全室長。

2003年 環境省自然環境局長。

2005年7月退官。

2006年（財）港湾空間高度化環境研究センター審議役。東京大学特任教授。

現在、鹿児島大学学長補佐。